

1 ハトラックの目的、ほんわかした羞恥をみたいがため。▽

2 △近距離 正面 特に移動なし▽

3 【陸上競技場的なSE、環境音】

4 「んっ…」

5 △ストレッチして、だけどのあとにほっと体を起こしたような▽

「そろそろ出番だけど…っと。」

6 「…応援、全然いないな…」

7 「一応東海地区の大会なんだけどな」

8 「いるのは数人の部員とコーチだけ。」

9 「はああ…これはサボりの件がバレてるな、ω年生に関しては一人もきてないし。」

10 「…あくあく、部員の子も携帯触って…あれだ、コーチに半強制的に呼び出された感じか。」

11 「…まっ、私のせいだし仕方ない、身から出たサビってやつだ。」

12 「…東海出れた時点で推薦はほぼ決まったようなものだし、適当に流して…」

13 「…そういえば、あの子もくるとかいつてたっけ…」

14 △きよろきよろ探してる▽「…んっ、んんっ……ん？…なっ！！」

15 △引き気味に読んでる 読み りきせんふんとう▽「…『早乙女一華、力戦奮闘』…な、なにあの横断幕は…」

16 「わざわざ用意して…？…っ！うちわまで…！」

17 「気合い入れすぎでしょ…ライブ会場じゃないんだから…あつ。」

18 「…やば目があった…っ！」

19 「………！」

20 へぼそつと▽「…ばっか、声でかい、てかまだ私の番じゃな

い…！」

21 「うう…恥ずかしい…周りちよつとざわついてるじゃん…！」

22 へまんざらでもない▽「…あんな応援されたら、手を抜けないじゃ

ん…！」

23 「…まあちよつとくらい、頑張るか。」